谷川中だより

令和８年１０月３０日（金）
大東市立谷川中学校
校長　　村島　正浩
０７２－８７１－５４７１

◆ 大東市弁論大会に出場します

１１月１３日（金）１４：００から開催される弁論大会に、１年１組の　　さんが出場します。当日は、予選を通過した小学生４名、中学生４名がサーティーホールの大ホールで発表します。緊張もするでしょうが、なかなかできない経験です。谷川中学校の代表として、頑張って来てください。１年１組はこの日、会場まで応援に行く予定です。

◆ 来週は、学校公開週間です

谷中校区祭りのため、１１月１４日（土）は２時間目までの参観授業で１６日（月）が代休です。その前に、なかなか土曜日は仕事の都合で学校に行けないというおうちの人もおられるので、学校公開週間を設定します。保護者・地域の方とろうかですれ違ったら、元気よくあいさつしましょう。（授業中は、あいさつしなくていいので集中を）

なお５日（木）は、１学期に実施することができなかった１年生の大阪城への校外学習が予定されているため、２・３年生だけの学校公開になります。

◆ 心に残る体育大会になりました

少し寒いお天気でしたが、体育大会は大成功のうちに幕を閉じました。谷中生がグラウンドで見せた輝く笑顔と真剣なまなざし、気持ちのこもった応援と一生懸命だったからこその涙は、多くの人の心に強く残っているはずです。

校長先生がさらに胸を打たれたのは、大会が終わった「その日の夜」の出来事です。２年生には、毎日１時間のランニングを自分に課している男子生徒がいます。体育大会という大きな行事を終え、仲間と楽しい時間を過ごして疲れもピークだったはずのその夜、彼はスマホで記録を取りながら、いつものように深北緑地をめざして走り出しました。しかも、そこには彼の思いに寄り添い、一緒に走ってくれた優しい友だちの姿もありました。

行事は、その日一日で完結するものではありません。大会で培った情熱やあきらめない心が、こうして生徒たちの「日常」に確かな芽となって根づいている。これこそが谷中生に学んでほしい、最も大切にしたい姿です。

行事で得た達成感を一瞬の思い出で終わらせず、自分の生き方や毎日の努力へとつなげていくこと。その地道な一歩を刻む谷中生の姿を、これからも先生・おうちの人・地域のみんなで応援し、見守っていきたいと思います。

青団、おめでとう。赤団、一番声出てました。緑団、悔しさもいい思い出だ。

1 8 2